

岩手・宮城内陸地震関連 耕英東地区コーケンプロック砂防えん堤が完成

平成20年岩手・宮城内陸地震で土石流の被害を受けた宮城・栗原市に、土砂の流出を防ぐ堤防「砂防えん堤」が完成し、平成25年11月12日に完成式(竣工式)が行われ、村井嘉浩知事をはじめ関係者およそ80人が出席されました。

完成したえん堤は、内陸地震などで堆積した土砂が三迫川下流に土石流となって流れないようにするためのもので、このえん堤群に当社のコーケンプロックも採用されています。

<概要>

事業主体	宮城県庁	
工事名	平成22年度県債砂防激特1-2-003、005号耕英東砂防えん堤工事	
工事場所	宮城県栗原市栗駒沼倉耕英東地内	
ブロック名	コーケンプロック 1.0型×2単位(2t)、1.0型×3単位(3t) 変形1.0型×3単位(2.5t)、変形1.0型×4単位(3t)	
上流えん堤	堤高	12.33m
	堤幅	48.34m
下流えん堤	堤高	14.78m
	堤幅	50.34m

※他、護岸工、帯工、床固工でも採用されています。



えん堤(上・下流)



写真奥側にある護岸工で使用 (FNNの報道映像より)